



韓國青年招入事業

1987

國際協力事業團
研修事業部





韓国青年招へい事業

JICA LIBRARY



1073379[8]

1974

1987

研管

JR

88-21

国際協力事業団

19074

序

21世紀に向けて新たな友情と信頼関係を結ぶことを目的として、昭和61年9月に中曽根前総理大臣により提唱されました「韓国青年招へい事業」は、翌昭和62年11月7日、勤労青年、農村青年、青年指導者A、Bの4グループから成る100名の青年が来日し、5ヵ年の友情計画の第一歩を踏み出しました。

1ヵ月にわたる招へい期間中、合宿セミナー、ホームステイ、各種施設及び企業視察といった様々な場を通じ、韓国の青年の皆様には日本の各地ですばらしい出会いをもたれたことと思います。また、日本の生活を直接肌で感じ、見て頂けたことと思います。韓国の青年と交流する機会を得た日本の青年の皆様からも、言葉や生活習慣といったものを超えて共感し合えた喜びの声をたくさん寄せて頂き、このプログラムが有意義であったものと大変嬉しく思っております。

本報告書は参加韓国青年及び、合宿セミナー参加日本青年、青年を受け入れて下さったホストファミリーの皆様からお寄せ頂いた感想文を中心に、1ヵ月の滞在の記録を掲載したものです。この報告書が「韓国青年招へい事業」の様々な場に参加して下さった皆様の思い出のしるしとして、また参加者の体験と感想をより多くの方々に共有して頂くための材料となりますことを願っております。

終わりに、皆様の暖かいご理解とご協力により、本計画が無事初年度を終えられましたことを、この誌上にて心から厚くお礼申し上げます。併せて、「韓国青年招へい事業」が次年度以降、益々有意義な交流プログラムとなりますよう、引続き一層のご支援を賜われますようお願い申し上げます。

昭和63年3月

国際協力事業団
研修事業部部长
岡 部 和 夫

信頼と友情への第一歩

昭和62年度韓国青年招へい事業



宇野外務大臣表敬

12月7日、韓国青年が外務省に
宇野外務大臣を表敬訪問

◀宇野外務大臣挨拶

宇野外務大臣と記念撮影 ▶



成田空港到着

11月8日午後、韓国
青年グループ100名は
成田空港に到着した。



▲来日した青年たち



◀バスでホテルへ出発

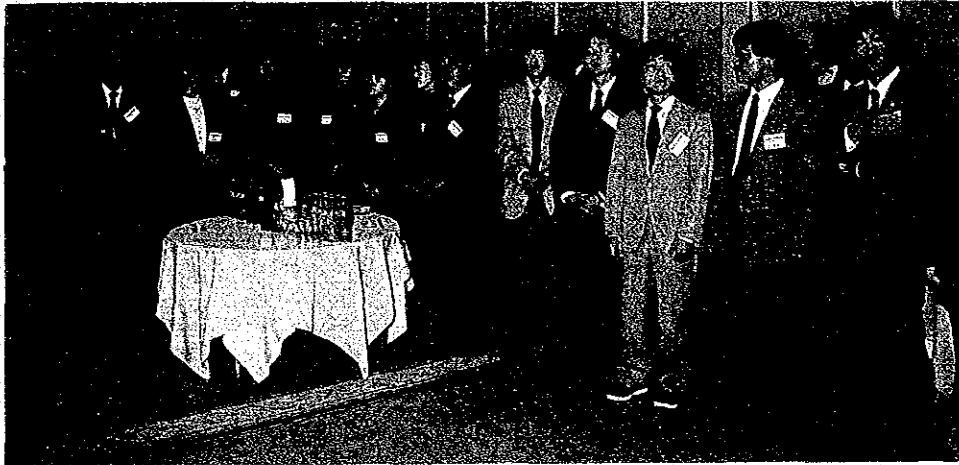
歡
迎
會



▲成著薫總團長が青年を代表して挨拶。



歓迎の挨拶をする国際協力事業団牟田口副總裁▶



共通 プログラム



◀ 講義「日本と韓国」
早稲田大学鳥羽欽一郎教授



講義「日本の産業史」
早稲田大学市川孝正教授 ▶





国立科学博物館 ▼

▲ 科学館での楽しいやりとり



電気通信科学館見学 ▼





▲ 歓迎の挨拶をする
日本武道館木島常任理事



▲ 日本の武道家たちとの心ふれあう交流



◀ 日本の伝統武道に挑戦





▲真剣なまなざしで進む討論

身振り手振りて会話もはずむ▼

合宿セミナー



楽しい夕食のひととき





日韓両国の愛唱歌を披露

▼ 日韓対抗腕相撲



◀ スポーツを通して広がる
日韓友情の輪



▼ ▲ 勝沼のワイン工場にて



新鮮なワインで乾杯 ▲

分野別プログラム

▼ 地元の小学校を訪問



▼ 心のこもったプレゼントの交換



▽日本の先端技術に目をみはる青年たち



▶電子顕微鏡の説明を受ける

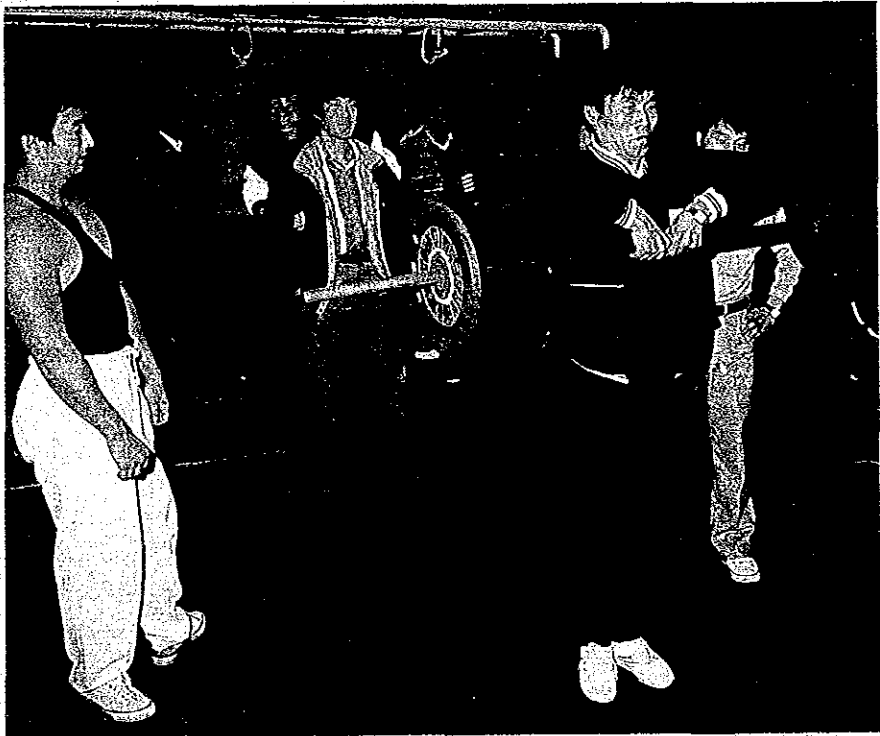


▶熱心な質問が続く

◀ 着物着付け



▼ バーベル同好会での交流





◀ 紙すきに挑戦 ▲ 女子高校生と料理実習

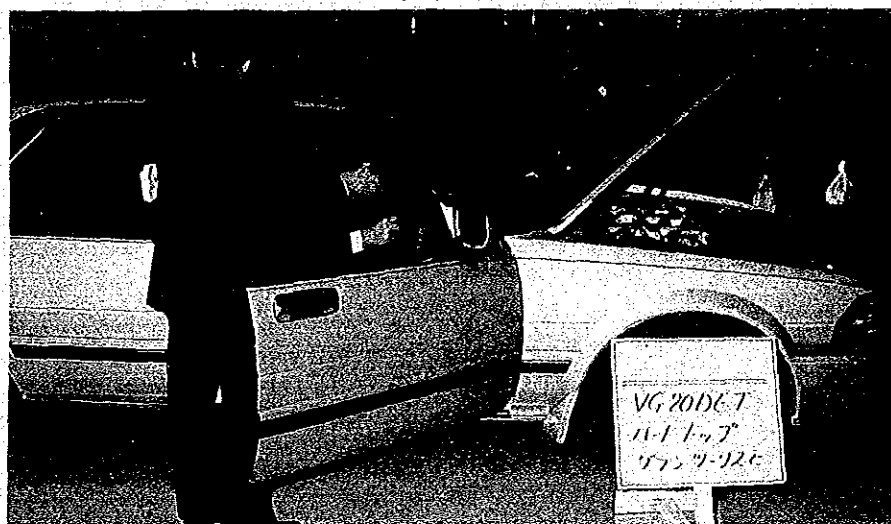


▲ 和服姿の女性と“お茶”を楽しむ



▲ 洋裁の授業で

▼ 自動車工場見学



ホームステイ

▼ 食後の楽しいひととき



▼ ホームステイ先の子どもたちと
近所の学園祭へ



◀ 近所の人たちと
楽しく過した一日。

見学旅行



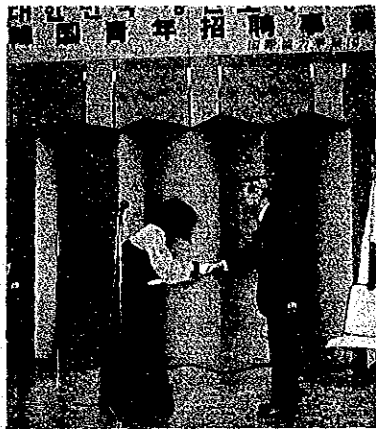
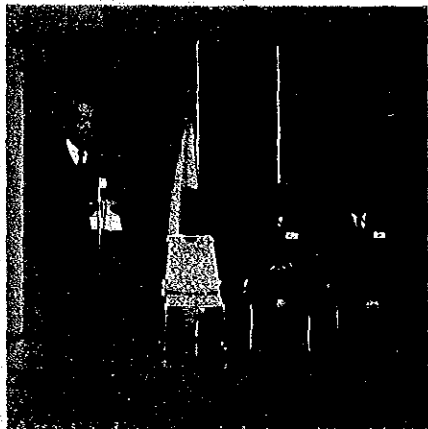
▲原爆ドームを訪問

美しい安芸の宮島▼



鹿とたわむれる▲

歓送会



日本最後の夜
「みなさんさようなら」



いつまでも続けよう
日韓友情の絆



コーディネーターとお別れ

帰国

韓国青年一行は、12月8日
無事帰国の途についた

いろいろな思いを胸に▼



目 次

序 文

1. 韓国青年招へい事業

(1)事業の概要 3

(2)実施団体・受入県一覧 5

(3)招へい青年内訳 5

(4)実施日程 6

2. 招へい青年感想文14

3. 合宿セミナー参加日本青年の声25

4. ホストファミリーの印象28

5. 招へい青年名簿32

6. 関連青少年団体住所録42

1. 韓国青年招へい事業

(1)事業の概要

①目的

21世紀に向けて、日本と韓国との友好と協力の関係をより強固かつ実りあるものとするため、未来の国造りを担う韓国の青年を我国に招へいし、日本の同世代の青年との交流を通じ、相互理解を深め、真の友情と信頼を培うことを目的とする。

②実施方法

(イ)招へい方法

昭和62年度は、100名の韓国青年を招へいする。

(ロ)招へい時期

昭和62年11月8日～12月8日

(ハ)招へい対象者

下記分野における指導的立場にある青年男女（年齢18～35歳前後）。

(i)勤労青年（35名）

- ・都市勤労青少年20名および関連科学技術分野青年15名
- ・労働部、科学技術処の推薦

(ii)農村青年（25名）

- ・農村勤労青少年20名および関連科学技術分野青年5名
- ・農林水産部、科学技術処の推薦

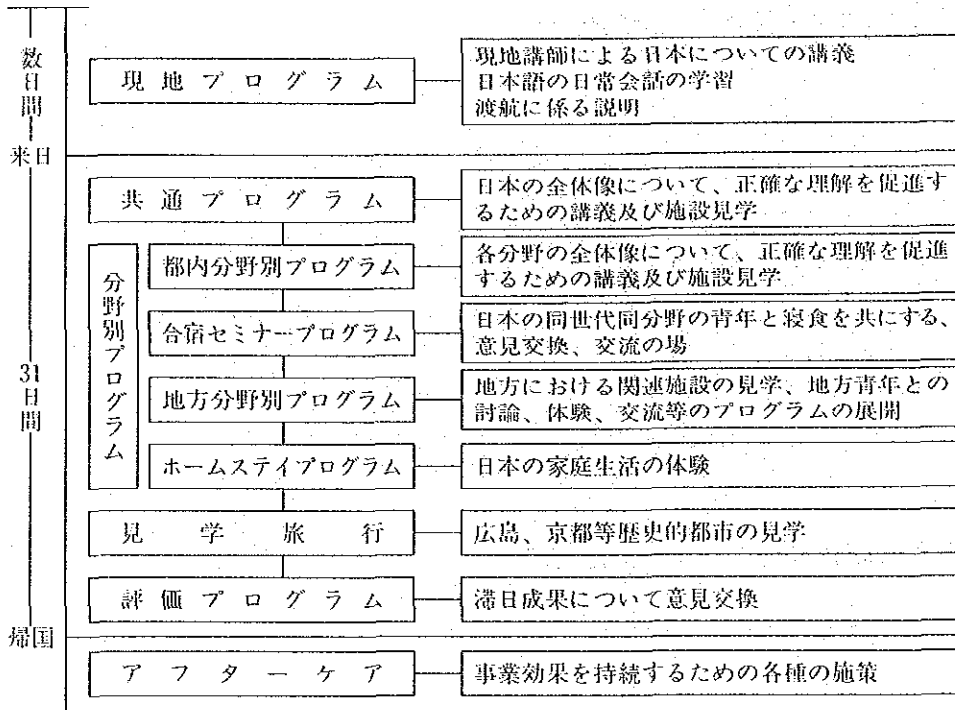
(iii)青年指導者A（20名）

- ・青少年団体の指導者20名
- ・青少年団体協議会、体育部、文化広報部の推薦

(iv)青年指導者B（20名）

- ・青少年指導関連公務員（スポーツ、文化、社会活動等）および青少年団の指導者
- ・青少年団体協議会、体育部、文化広報部の推薦

③プログラム概要



④受入体制

本計画を円滑に実施するため次の二委員会を設置する。

関係省庁調整連絡会議

任務：本計画の実施及び運営に係わる基本的事項につき協議。

構成メンバー：

外務省経済協力局技術協力課

アジア局地域政策課

文化交流部文化第二課

総務庁青少年対策本部

文部省学術国際局国際教育文化課

農林水産省経済局国際協力課

労働省労働基準局賃金福祉部勤労青少年室

自治省大臣官房企画室

国際協力事業団

実行連絡調整委員会

任務：実行計画の運営、分野別プログラムの実施及び各プログラム間の連携につき協議し、プログラム実施上の問題につき、国際協力事業団に対し助言。

構成メンバー：関係省庁より推薦された民間諸団体。

(甲)青少年育成国民会議

(乙)中央青少年団体連絡協議会

(丙)世界青少年交流協会

(丁)日本国際生活体験協会

(戊)全国農村青少年教育振興会

(己)日本経済青年協議会

(庚)勤労厚生協会

(辛)ユースワーカー能力開発協会

(壬)国際交流サービス協会

(癸)青年海外協力協会

(甲)国際協力サービス・センター

(2)実施団体・受入県一覧

分野名	人数	実施協力団体	実施県	地方協力団体
勤 労 青 年	35	青少年育成国民会議	神奈川	韓国青年歓迎委員会
農 村 青 年	25	中央青少年団体連絡協議会	青 森	青森県青少年団体連絡協議会
青年指導者A	20	中央青少年団体連絡協議会	栃 木	栃木県青少年団体連絡協議会
青年指導者B	20	国際交流サービス協会	福 岡	福岡県海外協会

*青年指導者Bグループには、団長，副団長，幹事が含まれる。

(3)招へい青年内訳

分野名	男	女	計
勤 労 青 年	27	8	35
農 村 青 年	13	12	25
青年指導者A	17	3	20
青年指導者B	19	1	20
総 計	76	24	100

(4)実施日程

①勤労青年グループ

		プログラム内容	
		午 前	
11月8日	日		
9日	月	本計画のブリーフィング	歓迎会
10日	火	講義「日本の社会と風土」	
11日	水	電気通信科学館見学	
12日	木	講義「日本の産業史」	
13日	金	講義「日本と韓国」	
14日	土	オリエンテーション	歓迎昼食会
15日	日	県内勤労青年および青少年活動家との交歓会	開会式
16日	月	自主研修	
17日	火	東芝科学館見学	
18日	水	神奈川県工業試験場、技術情報センター見学	
19日	木	富士電機総合研究所訪問	
20日	金	ホームステイ準備	
21日	土	ホームステイ	
22日	日	ホームステイ	
23日	月	東京へ移動	
24日	火	経団連訪問	
25日	水	荒川区長表敬訪問	
26日	木	日本通運本社訪問	
27日	金	労働省表敬訪問	
28日	土	山中湖へ移動	
29日	日	スポーツ交流、ゼミナール	
30日	月	箱根小旅行	
12月1日	火	広島へ移動	
2日	水	宮島見学	
3日	木	奈良見学(奈良国立博物館、東大寺)	
4日	金	京都へ移動、京都見学(西陣織会館)	
5日	土	帰国準備	
6日	日	帰国準備	
7日	月	評価会	帰国に関する説明・諸手続
8日	火	帰国	

	実施場所
午 後	
来日	東 京
生活ガイダンス 日本語会話(I)	＃
講義「日本の歴史と文化」	＃
国立科学博物館、サンシャイン展望台見学	＃
講義「日本の経済」 武道鑑賞および交歓会	＃
日本語会話(II) 大使館ブリーフィング	＃
横浜へ移動	神奈川
分科会討議 交歓会 市内散策	＃
神奈川県庁訪問 歓迎レセプション	＃
川崎市訪問 川崎中小企業団地見学	＃
味の素川崎工場見学 神之木台青少年会館訪問	＃
自主研修	＃
ホームステイオリエンテーション	＃
＃	＃
＃	＃
＃	＃
＃	＃
さよならパーティー	＃
都内見学 (東京タワー、浅草)	東 京
王子高等職業訓練校訪問	＃
グループ別区内視察 荒川区主催懇親会	＃
日本通運中央流通センター見学	＃
自主研修	＃
合宿セミナー オリエンテーション 夕食会 ゲーム大会	山 梨
基調講演、グループ別討論、スポーツ交流	＃
東京へ移動	東 京
広島見学 (平和記念公園)	東 広 島
奈良へ移動	奈 良
奈良見学 (法隆寺)	＃
京都見学 (清水寺) 東京へ移動	京 都
＃	東 京
＃	＃
＃	＃
外務大臣表敬訪問 歓送会	＃
＃	＃

②農村青年グループ

		プログラム内容
		午 前
11月8日	日	
9日	月	本計画のブリーフィング 歓迎会
10日	火	講義「日本の社会と風土」
11日	水	電気通信科学館見学
12日	木	講義「日本の産業史」
13日	金	講義「日本と韓国」
14日	土	農林水産省訪問 中青連役員との昼食会
15日	日	勝沼へ移動 マンズワイン勝沼工場見学
16日	月	基調講演 全体討議Ⅰ
17日	火	分科会討議(2)
18日	水	閉会式 移動<青少年センター→相模湖→ホテル>
19日	木	久保田鉄工筑波工場見学
20日	金	茨城県園芸試験場見学
21日	土	青森へ移動
22日	日	自主研修
23日	月	県営浅虫水族館見学
24日	火	青森県知事表敬訪問 県概要説明
25日	水	県りんごジュース工場見学 県農業大学校訪問
26日	木	東北町長いも生産農家訪問 野菜集送センター見学
27日	金	六戸町農協農産物処理加工センター見学
28日	土	ホームステイ
29日	日	ホームステイ
30日	月	広島へ移動
12月1日	火	宮島(厳島神社・弥山ロープウェイ)
2日	水	京都へ移動
3日	木	奈良見学(東大寺)
4日	金	東京へ移動
5日	土	帰国準備
6日	日	帰国準備
7日	月	評価会 帰国に関する説明・諸手続
8日	火	帰国

午 後	実施場所
来日	東 京
生活ガイダンス 日本語会話(Ⅰ)	〃
講義「日本の歴史と文化」	〃
国立科学技術博物館、サンシャイン展望台見学	〃
講義「日本の経済」 武道鑑賞および交歓会	〃
日本語会話(Ⅱ) 大使館ブリーフィング	〃
合宿セミナー開会式 オリエンテーション 自主研修 ※日本測青年事前研修	〃
移動〈勝沼→青少年センター〉 スポーツ・レクリエーション	山 梨
分科会討議(Ⅰ) 交流の夕べ	〃
分科会討議(Ⅲ) 全体討議Ⅱ	〃
農林水産省技術会議事務局 筑波国際農業研修センター訪問	茨 城
佐倉国立歴史民俗博物館見学	東 京
オリエンテーション	青 森
板柳町農協農産物共進会见学、青少年団体代表者と交流	〃
アスパム(観光物産館)見学および郷土民芸品作り実習	〃
県農業関係者と意見交換 歓迎レセプション	〃
浪岡町農協訪問 クラフト姉さま人形製作実演	〃
東北鶏卵下田農場見学 上十三地区青年とレクリエーション	〃
対面式 ホームステイ	〃
ホストファミリー さよならパーティー	〃
広島見学(平和記念公園、原爆資料館)	広 島
京都見学(金閣寺、西陣織会館、二条城・清水寺)	京 都
奈良見学(法隆寺)	〃
自主研修	東 京
	〃
外務大臣表敬訪問 餞送会	〃

③青年指導者Aグループ

		プログラム内容	
		午 前	
11月8日	日		
9日	月	本計画のブリーフィング	歓迎会
10日	火	講義「日本の社会と風土」	
11日	水	電気通信科学館見学	
12日	木	講義「日本の産業史」	
13日	金	講義「日本と韓国」	
14日	土	代々木オリンピックセンター訪問	中青連役員との昼食会
15日	日	箱根へ移動（大桶谷、彫刻の森美術館見学）	
16日	月	基調提案（日本／韓国代表）	全体討議Ⅰ
17日	火	分科会討議（2）	
18日	水	全体討議Ⅱ 閉会式	東京へ移動（富士箱根ランド→十国峠→日本青年館）
19日	木	佐倉国立歴史民俗博物館見学	
20日	金	筑波大学訪問（施設見学および教授・学生と交流）	
21日	土	宇都宮へ移動	
22日	日	ホームステイオリエンテーション	ホームステイ
23日	月	ホームステイ	
24日	火	ホストファミリーより集合	日産自動車栃木工場見学
25日	水	栃木県知事表敬訪問	県社会教育担当者との意見交換
26日	木	作新学院訪問（授業参観および教師との意見交換）	
27日	金	那須へ移動	国立那須甲子少年自然の家訪問
28日	土	日光見学	
29日	日	宇都宮市森林公園散策（地元青年とスポーツ・レクリエーション）	
30日	月	京都へ移動	
12月1日	火	奈良見学（奈良国立博物館、東大寺）	
2日	水	京都見学（二条城、西陣織会館）	
3日	木	広島見学（平和記念公園、原爆資料館）	
4日	金	東京へ移動	
5日	土	帰国準備	
6日	日	帰国準備	
7日	月	評価会	帰国に関する説明・諸手続
8日	火	帰国	

午 後		実施場所
来日		東 京
生活ガイドス 日本語会話(I)		〃
講義「日本の歴史と文化」		〃
国立科学博物館、サンシャイン展望台見学		〃
講義「日本の経済」 武道鑑賞および交流会		〃
日本語会話(II) 大使館ブリーフィング		〃
開会式 オリエンテーション 自主研修		〃
スポーツ・レクリエーション		静 岡
分科会討議(1) 交流の夕べ		〃
分科会討議(3) スポーツ大会		〃
筑波研究学園都市見学		東 京 茨 城
国立公害研究所見学		〃
オリエンテーション 県青年会館施設見学および関係者と懇談 歓迎レセプション		栃 木
		〃
		〃
烏山和紙館見学・実習		〃
下野新聞見学		〃
県立博物館見学 宇都宮市勤労青少年ホーム訪問		〃
日光へ移動		〃
青年団体との懇談会		〃
さよならパーティー		〃
京都見学(金閣寺)		京 都
奈良見学(法隆寺)		〃
広島へ移動		広 島
宮島見学(厳島神社、宮島水族館)		〃
		東 京
		〃
		〃
外務大臣表敬訪問	歓送会	〃
		〃

④青年指導者Bグループ

		プログラム内容	
		午 前	
11月8日	日		
9日	月	本計画のブリーフィング	歓迎会
10日	火	講義「日本の社会と風土」	
11日	水	電気通信科学館見学	
12日	木	講義「日本の産業史」	
13日	金	講義「日本と韓国」	
14日	土	オリエンテーション	
15日	日	日光見学	
16日	月	文部省訪問および講義「日本の青少年教育」	
17日	火	千代田区立永田町小学校訪問	
18日	水	筑波研究学園都市訪問 (筑波住宅都市整備公園)	
19日	木	都立広尾高等学校訪問	
20日	金	青少年更生施設訪問 (多摩少年院)	
21日	土	箱根見学	
22日	日	基調講演	
23日	月	富士五合目登山 (バス)	
24日	火	福岡へ移動	
25日	水	東陶機器見学	
26日	木	産業医科大学見学	
27日	金	福岡へ移動	
28日	土	ホームステイ	
29日	日	ホームステイ	
30日	月	広島へ移動	
12月1日	火	広島見学 (平和記念館、原爆資料館)	
2日	水	京都へ移動	
3日	木	奈良見学 (春日大社、東大寺)	
4日	金	京都見学 (古代友禅苑、清水寺)	
5日	土	帰国準備	
6日	日	帰国準備	
7日	月	評価会 帰国に関する説明・諸手続	
8日	火	帰国	

	実施場所
午 後	
来日	東 京
生活ガイダンス 日本語会話(I)	"
講義「日本の歴史と文化」	"
国立科学博物館、サンシャイン展望台見学	"
講義「日本の経済」 武道鑑賞および交歓会	"
日本語会話(II) 大使館ブリーフィング	"
都内見学 (上野、浅草等)	"
総務庁訪問および講義「日本の青少年行政」	"
日本体育協会訪問	"
筑波大学訪問 (表敬、概要説明、懇談)	"
国会(衆議院)見学 歌舞伎鑑賞	"
箱根へ移動	神奈川
合宿施設へ移動 交歓会	山 梨
韓国青年の講演 座談会	"
東京へ移動	東 京
福岡県知事表敬および県勢概要説明	福 岡
北九州市長敬訪問、交流会	"
笹田焼、喜二郎窯見学	"
ホームステイオリエンテーション	"
ホテルへ集合	"
マツダ自動車見学	"
宮島見学	廣 島
京都見学 (平安神宮、金閣寺、竜安寺)	"
京都見学 (二条城)	京 都
東京へ移動	"
外務大臣表敬訪問	"
歓迎会	"
	"